

横浜市山内図書館 平成23年度事業計画書

指定管理者名 有隣堂グループ

1 施設の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造・規模	鉄筋コンクリート造3階建（図書館部分：2階）
延床面積	2,147平方メートル

2 指定管理者

法人名	有隣堂グループ
所在地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代表者	株式会社 有隣堂 松信 裕
指定期間	平成22年4月1日～平成27年3月31日
主な受託実績	株式会社 有隣堂 指定管理者実績：大田区立大森東図書館、綾瀬市立図書館 横浜市市沢地区センター・港南台地区センター・永谷地区センター・竹之丸地区センター 業務委託実績：川崎市立麻生・多摩・高津図書館、秦野市立図書館、伊勢原市立図書館、大磯町立図書館 三洋装備 株式会社 指定管理者実績：小山市民文化センター・小山中央公民館 業務委託実績：横浜市美しが丘西地区センター(他34か所) ほか 2011年3月現在

3 指定管理業務の方針

(1) 基本方針

指定期間中の基本方針は、指定期間の5年間を通して次のとおりです。

山内図書館の図書館基本業務の確実な継承・維持・強化とサービスの増加により、市民の生活や活動の支援・応援を行い、身近で親しみやすい生活密着図書館となることを目指します。山内図書館のサービスの基本方針は以下の3つです。

① 地域情報拠点機能の強化

地域の実情を研究し、必要とされる情報の収集と利用者満足度の高い提供方法を検討・実施していきます。

② 課題解決支援機能の強化

生活情報へのアクセシビリティを高め、「ここにくればわかる」図書館を目指すとともに、自助自立の精神をもって市民の情報リテラシー向上を支援します。

③ 地域の特色に合わせた個性ある地域図書館

利用者会議「山内図書館利用者フォーラム」からの意見をはじめ、地域で活動するボランティアや企業も含めた団体などから地域の方々の声を運営へ反映させます。また、自主企画事業での連携企画やボランティア団体や子どもの図書館活動への参加機会創出など、市民の活動の場を提供します。

(2) 平成23年度の指定管理業務の位置づけ

有隣堂グループは、指定管理者として指定期間である5年間で、階段を一段ずつ登るようにステップアップしていきます。

22年度は、それまで山内図書館が築き上げた図書館サービスを継承し、新たな取組みを開始するための基盤作りをしました。また、横浜市初の指定管理による図書館として、横浜市立図書館条例・規則・諸基準・目標等を理解し、全館共通のサービスについて継承する体制を作りました。

23年度は、次の階段を上るために、22年度で捉えたニーズを基にさらに利便性を追求した新たなサービスを展開していきます。

具体的には、まず、学校連携事業や地域情報拠点のさらなる強化、レファレンスや自主企画事業の充実を図っていきます。次に、ホームページなどの電子媒体での広報活動についても22年度に引き続き行いますが、23年度は好評だったコンテンツのブラッシュアップや、新しいコンテンツの作成にも取り組んでいきます。加えて、図書取次サービスの強化や宅配サービスによる利便性の検証を行い、利用者が求めている利便性について分析していきます。

なお、スタッフの研修では、22年度で実施した基本研修を踏まえ、職員への図書館サービスのスキルアップ研修やアルバイトスタッフのレベルアップ研修を行います。

(3) 平成23年度の重点目標

① 地域との連携のさらなる推進

22年度は「山内図書館利用者フォーラム」を開催しました。その中から、地域で活躍している団体の活動内容や山内図書館の方向性を話し合うことが出来ました。

今後は地域で活躍している団体の声を反映し、地域に根ざした広報活動や連携事業を行います。また、青葉区や地域の民間会社とも連携し協働を進めます。

② 学校図書館との連携と支援

22年度は学校連携担当者を配置し、12校へのアドバイスをを行いました。この中で、図書館運営の基本や日本十進法分類についてなどの説明や展示のアドバイスをしない、ボランティアによる学校図書館運営が出来るように導きました。また、学校ボランティアの交流の場として図書館を開放し、ボランティア同士のつながりを持つ事も試みました。

23年度も昨年度に引き続き、学校連携担当者がより多くの青葉区内小中学校の状況を把握し、学校図書館毎に何が必要なのか見極めます。また、小中学校で活躍するボランティアに向け、読み聞かせや修理の講座、図書館運営の基本の講座を行い、ボランティアの育成や学校図書館の活性化を図るとともにレベルを向上できるように努めます。

③ 図書館広報活動の強化

まず、22年度に好評いただいたホームページですが、23年度にリニューアル

ルし、図書館情報をよりわかりやすくお届けします。

さらに、iPadに代表されるタブレット型コンピューターといった新しい媒体を利用して、地域の民話をもとにした紙芝居の紹介や著名人による本の紹介を行い地域情報発信拠点の役割を担います。また、電子広報媒体の位置づけを整理し、新着ニュースはホームページ及びメールマガジンで、イベントの様子はブログで、地域情報はiPadで掲載するなど、電子機器の性格を利用して効果的に山内図書館の存在や活用法をPRしていきます。

加えて読書推進については、22年度に引き続き、地域のラジオ局であるFMサルースの番組に地域のボランティア団体とともに出演、本の紹介を行うとともに、23年度には、ブログやメールマガジンにおいて話題の本や司書による本の紹介をすることで、読書推進につなげます。

④ 市民の課題解決のための事業展開

図書館職員の支援を受けなくても利用者自ら問題を解決できるよう、セルフファレンスのヒントとなる事業を大人・子ども向けに開催します。

22年度に引き続き、日経テレコン21などの商用データベースを用いた情報提供、利用者支援を行うとともに、23年度はこれらの商用データベースを利用したサービスをさらに充実させ、広くPRしていきます。また、昨年度導入したインターネット百科事典ポプラディアネットなどの子ども向け商用データベース専用端末を夏休みの調べ学習などに活用できるよう、企画事業を展開していきます。

4 各種業務計画

(1) 自主企画事業

別紙1「自主企画事業年間計画」による。

(2) 学校連携事業

別紙2「学校支援年間計画」による。

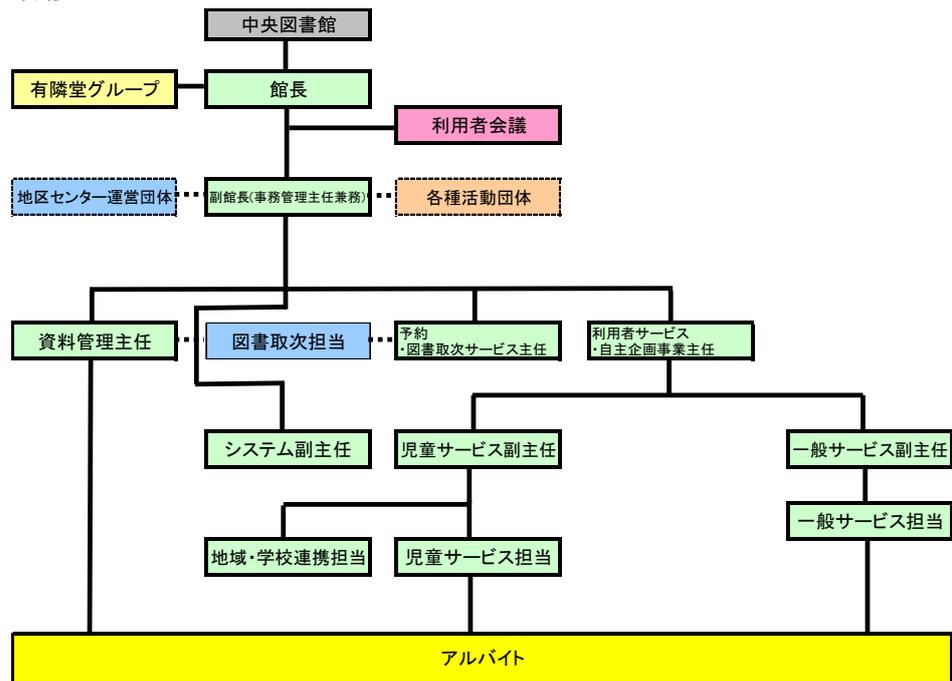
(3) その他の事業

- ・ 青葉区の美しい風景写真や、青葉区で活躍している団体のオリジナル紙芝居などの地域資料をデジタル化します。iPadなどのタブレット型コンピュータを利用し、このデジタル資料と青葉区にゆかりのある著名人による思い出に残る本の紹介を掲載した地域情報を、あおば「かわら版」として館内で閲覧できるサービスを実施します。
- ・ 有料宅配サービスを引き続き実施し、来館が難しい区民の方にも図書館をより身近で便利にご利用いただけるようにします。
- ・ 図書取次サービスの強化のひとつとして、駅ポストの回収頻度を増加します。
- ・ セルフファレンスのヒントになる医療に関する講座を、横浜市大エクステンションセンターと連携して実施します。
- ・ 22年度に実施した「山内堂」では、図書館にあると便利な文具や本、エコバックを多数販売するとともに、講演会の際に講師の著書を販売することで好評を得ました。これを踏まえ、23年度は、「山内堂」の商品ラインナップを検証、改善し、利便性の向上を図ります。

5 施設運営及び管理に関する計画

(1) 人員配置及び研修

[組織図]



[研修]

	対象	講師・講座	回数/年
個人情報保護研修	職員・アルバイト全員	本部職員による研修	2
コンプライアンス研修	職員・アルバイト全員	本部職員による研修	2
消防訓練	職員全員	消防署による研修	2
危機管理・警備研修	職員全員	危機管理及び警備マニュアルによる研修	1
児童サービス	児童サービス担当	外部の講座の受講など	1
障がい者サービス	障がい者サービス担当	外部の講座の受講など	1
レファレンスサービス	職員	外部の講座の受講など	1
自主企画事業	自主企画事業担当	外部の講座の受講など	1
情報機器研修	システム担当	外部の講座の受講など	1

(2) 施設の保守・管理

[業務内容]	[達成指標]
建築・設備の保守管理	業務水準通り適切に維持管理を行う。
警備業務	防犯、安全管理のため、警備会社に委託し、夜間等保安警備業務を行う。
清掃・環境衛生管理	業務水準通り適切に維持管理を行う。 床面定期清掃については、ワックスを剥離し、美観を保つ。

(3) 広報、ニーズの把握、情報公開

[広報]

22年度は、青葉区報「あおば」をはじめ、館内ポスター掲示などの紙媒体で発信するとともに、ホームページ・メールマガジン・ブログ・ツイッターなどの電子媒体を使って若い世代からご高齢者まで幅広い広報活動を行ってきました。

引き続きこれらの広報活動に加え、23年度は、青葉区民ポータルサイト「あおばみん」やタウンニュース、FMサルスにより積極的に働きかけ、図書館情報を地域の利用者へ提供します。また、子ども向けの自主企画事業については、22年度に反応の多かった小学校へのチラシ配布を中心に行っていきます。

[ニーズの把握]

カウンターでの利用者からの口頭でのご意見、意見箱からの利用者の声や、イベント時でのアンケートなどから利用者ニーズを把握していますが、加えて山内図書館利用者フォーラムや団体貸出の団体などから団体として意見を聞く機会を設けニーズを把握します。

[情報公開]

横浜市の保有する情報の公開に関する条例の趣旨に則り、22年度に定めた「横浜市山内図書館情報公開規程」に基づき、山内図書館の管理業務に係る情報を公開するよう努めます。個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をします。

(4) 危機管理

- ・23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震の事例をもとに危機管理マニュアルを改訂します。また、改訂したマニュアルに基づき、図書館に起こりうる危機（災害・事故・犯罪・迷惑行為等）に備えた教育・研修を実施します。特に、地震発生時の配置（参集）や行うべき業務を再確認し、確実に実施できるようにします。また、連絡体制についても、緊急連絡網により中央図書館・本部への連絡を徹底します。
- ・22年度に作成した防災計画に基づき、年2回の防災訓練を実施します。23年度は、隣接する地区センターや市・区・警察署・消防署などとの連携を確認し、いざという時に備える体制を強化します。
- ・警備については、23年度からスタッフによる巡回を行い、利用者の安心感を高めます。

(5) 自己評価

22年度に実施したセルフモニタリングの項目と同じ項目で、23年度も評価します。その内容を、職員全員と共同企業体構成企業による「セルフモニタリング会議」を開催、自己評価を行い、今後の方向性を話し合い、24年度の事業に反映させます。また、「セルフモニタリング報告書」は、市及び「山内図書館利用者フォーラム」に報告後、ホームページ等で公表します。

6 収支予算計画

項目	予算額	備考
----	-----	----

収入		
指定管理料	168,575,000	
事業収入	290,000	自主企画事業等収入
その他収入	300,000	自販機等売上手数料等
合計	169,165,000	

支出		
人件費	80,285,000	給与、法定福利費、通勤費等
管理費	54,724,000	水道光熱費、施設管理費、修繕費等
事業費	10,746,000	自主企画事業等経費
事務費	23,410,000	広報・通信費、消耗品費、事務用品費等
合計	169,165,000	

収支計	0	
-----	---	--

平成22年度自主企画事業の振り返り

- ・地域団体やボランティアグループ、青葉区と連携を取り、講座・イベントを開催することで繋がりを深め、図書館のPRも行うことができた。
- ・事業参加者や来館者の意見（アンケート等）を聞き、区民のニーズを知ることができた。
- ・地域の特性として、児童や若い家族に向けた企画の更なる充実を図る必要性を感じた。
- ・館外のイベント等に参加することで、未利用者が図書館を知るきっかけを作ることができた。
- ・大学と連携した有料文学講座を開き、参加が多かった。学術講座の需要を感じた。

平成23年度自主企画事業実施方針

- ・22年度に繋がりを持った地域団体やボランティアグループ、大学等とさらなる連携を強め、青葉区をテーマにした講座や展示等を開催し、地域の情報拠点としての機能強化を図る。
- ・地域住民のニーズに合い、セルフレファレンスのヒントとなる事業を開催することで、課題解決型図書館を目指す。
- ・未利用者に向け図書館を知るきっかけとなる講座やイベントを実施し、特色のある図書館を周知するとともに、利用推進を図る。

実施予定事業月別一覧

月	事業名	記者発表の有無	ミニコミへの情報の有無	備考
4月	春のおはなし会～今日は子ども読書の日（C）	無	有	
	展示「新学期、読んでみようこんな本！」	無	有	
5月	あおば探訪～自然編①	無	有	
	親子で楽しむ郷土の紙芝居～春	無	有	
6月	やまちゃんキッズクラブ	無	有	
	空とぶじゅうたん 大人のためのおはなし会（B）	無	有	
	応援します！イクメンパパ よみきかせ講座（小学生向け）	有 無	有 有	
7月	講座「三島由紀夫と現代社会」（全5回）	無	有	横浜市立大学エクステンションセンター連携講座
	小学生のための調べ方講座	無	有	
8月	小学生夏休み1日図書館員	無	有	
	あおば探訪～自然編②	無	有	
	図書館夏のおはなし祭り（C）	有	有	
	展示「風をきって走る一自転車と文学とヨコハマ一展」（8～9月）	無	有	
9月	やまちゃんキッズクラブ	無	有	
	医療講座 修理ボランティアのための製本講座（全3回）	有 無	有 有	
10月	空とぶじゅうたん 大人のためのおはなし会（B）	無	有	
	あおば探訪～歴史編① 「青葉区の獅子舞」	無	有	
	消しゴムはんこで蔵書票づくり	無	有	
	親子で楽しむ郷土の紙芝居～秋	無	有	
11月	秋のおはなし会（C）	無	有	
	山内地区センターまつり連携イベント	無	有	事業協力
	区民交流センターまつり 図書館ブース出展	無	有	事業協力
	青葉おはなしフェスティバル2011	無	有	事業協力
12月	あおば探訪～歴史編②	無	有	
	あおば探訪～自然編③	無	有	
	よみきかせ講座（小学生向け）	無	有	
	展示「番付で楽しむ世相と評判」（12～1月）	無	有	
1月～3月は裏面に				

1月	数学講座（全4回）	無	有	横浜市立大学エクステンションセンター連携講座
2月	空とぶじゅうたん 大人のためのおはなし会（B）	無	有	
	親子で楽しむ郷土の紙芝居～冬	無	有	
3月	やまちゃんキッズクラブ	無	有	

定例おはなし会（定例おはなし会、親子おはなし会、福祉保健センター連携事業等）

おはなし会A（職員によるおはなし会）		
事業名	対象	日時
おはなし会B（ボランティアによるおはなし会）		
事業名・団体名	対象	日時
おはなし会C（ボランティアと職員による協働おはなし会）		
事業名・団体名	対象	日時
空とぶじゅうたん絵本と語りおはなし会	3歳以上 1人でおはなしを聞ける子	毎月第2・4水曜日 15:30～16:00
空とぶじゅうたん絵本と語り親子おはなし会	1歳以上の子どもと保護者	毎月第2・4金曜日 ①11:00～11:20② 11:30～11:50

その他の定例的な事業 ※概ね2ヶ月に1回程度開催するものは定例的な事業としてご記入ください。

事業名 (ボランティアによるもの・ボランティアと職員の協働によるものは団体名もご記入ください)	対象	日時

平成23年度 山内図書館 小・中学校 支援年間計画

別紙2

		図書館の主な動き (児童関係)	学校の動き	図書館見学 インタビュー	来館調べ学習	職業体験	学校訪問 推進校訪問 図書館整備相談訪問 ブックトーク ボラ活動支援など	山内学校連携 主催講習会 ボラ相談日 学校連携展示	区図書館研究会 教職員向講習 市研修会参加 ホラン研修会(他 団体主催)	教職員貸出
4月	上	異動	入学式				継続校・推進校訪問			随 時 受 付 ◎
	中						学校図書館状況調査	読書コ-デ-イネ-タ-交流		
	下						学校図書館状況調査		学連活用 PR	
5月	上						◎推進校、他			
	中						○	整・製本講座3回地区々		
	下	親子紙芝居					○	相談日①		
6月	上	キッズ①		○	○		○訪問修理講習		中学図部会	
	中			○	○		○	◎読聞かせ講座(3回)	B研究会場提供	
	下	蔵書点検		○	○		○		担当者会議	
7月	上			○			◎推進校、他	相談日②	B研修参加	
	中	調べ物講座		○			◎		ABN 講師	
	下		夏休み		○		○		B研講師	
8月	上	1日図書館員				○				
	中	夏のお話会				○				
	下						◎		教職員研修	
9月	上	キッズ②		○			◎			
	中			○			◎	○相談日③		
	下			○	○		○			
10月	上		運動会		○		○	修理講座2回地区々々		
	中				○		○	*学校連携テ-マ展示		
	下	読書週間関			○		○			
11月	上	連事業	浜読/日				訪問ブ-ックトーク		読み聞かせ講	
	中			○	○		◎	○相談日④	ABN 交流会	
	下	交流祭		○	○		◎			
12月	上			○			○	◎読み聞かせ講座3回		
	中			○			○	◎		
	下		冬休み					○	市図研修会	
1月	上						○			
	中				○	○	○	○相談日⑤	推進校報告	
	下				○	◎	○		小中合同研	
2月	上				○	◎			保護者向研修	
	中			○	○	◎	訪問ブ-ックトーク			
	下			○			○			
3月	上	キッズ③		○			◎事業報告:各校	○相談日⑥		
	中		卒業式				○	*学校連携テ-マ展示		
	下		春休み				◎			

* ◎は特に頻度が高く、重点を置く時期 ○は比較的頻度が高い時期